

国際シンポジウム

# 『コンフリクトと協力』

日時:2008年7月13日(日)

場所:大阪大学コンベンションセンター MOホール(参加無料・事前予約不要)  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 TEL・FAX 06-6877-9852  
会場へのアクセスは以下のホームページ、または裏面略図をご覧ください。

<http://www.handai-kouenkai.org/convention/>

## 【プログラム】

- 10:00-10:10 開会の辞(栗本英世 大阪大学GLOCOLセンター長)
- 10:10-10:20 報告(山本真鳥 日本文化人類学会会長)
- 10:20-16:00 WCAA加盟各学会代表者による報告
- 16:00-18:00 全体討論
- 18:00-18:10 報告(松岡万亀雄 国立民族学博物館館長)
- 18:10-18:20 総括と閉会の辞  
(小泉潤二 大阪大学GCOE拠点リーダー、大阪大学理事・副学長)

主催:人類学会世界協議会(WCAA - World Council of Anthropological Association)  
大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」  
大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)

共催:国立民族学博物館

日本文化人類学会

後援:公益信託澁澤民族学振興基金

ウェンナー・グレン財団(Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research)

連絡先 大阪大学グローバルコラボレーションセンター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-7

TEL:06-6879-4442 FAX:06-6879-4444

E-mail : [jimu@glocol.osaka-u.ac.jp](mailto:jimu@glocol.osaka-u.ac.jp)

URL : <http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/>

## WCAA OSAKA 2008 Conflict, Cooperation, and Anthropologies' Role in the World

グローバル化によるコンフリクトが問題化する現代世界において、人類学はどのような役割を果たせるのか?世界の人類学は互いにどのような協力関係を築くことができるのか?人類学会世界協議会(WCAA)に加盟する世界の主要人類学会の代表が大阪に集まり、「人類学における国際協力」と「国際協力のための人類学」について討議する。

司会:小泉潤二(大阪大学理事・副学長、WCAA代表幹事 (Facilitator))

参加者:グスタボ・リンズ・ヘベイロ (WCAA), ジョン・グレドヒル (WCAA/ASA), ヘンク・バーウ (WCAA), トマス・アントン・ロイター (WCAA), セサ・ロウ (AAA), レグナ・ダーネル (CASC), アナ・ベラ・ベレス・カストロ (ALA), フェルナン・ド・サルメロン (CEAS), ルイス・R・カルドゾ・デ・オリベイラ (ABA), シャリーニ・ランデリア (EASA), ローラン・バザン (AFA), カール・ハインツ・コール (GAA/DGV), スザナ・ドレス・デ・マトス・ピエガス (APA), エリセンダ・アルデボル・ピエラ (ICA), ユリ・チストフ (RAAE), ポール・ンクウィ (PAAA), マグシー・スピーゲル (ASnA), グレゴリー・アチャイオリ (AAS), マイケル・ゴールドスミス (ASAA/NZ), アジット・タンダ (IAS), 山本真鳥 (JASCA), 松岡万亀雄 (国立民族学博物館), レスリー・アイエロ (ウェンナー・グレン財団)

## —現代世界における人類学の役割—